

ふくしの森ステーション



ひがしあがのだより



所在地：虎秀14-5 (東吾野地区行政センター内)

電話：070-7792-2436

FAX：042-973-8941

メール：station-higasiagano@hannosyakyo.or.jp

開所日：原則、火～金(祝日を除く)

時間：9:15～16:15

飯能市社会福祉協議会(社協)は「第4次はんのうふくしの森プラン」に基づいて、取組を進めています。そこで、7月号から今号までの3回にわたり、プランの計画期間(6年間)で特に力を入れていく「重点的な取組」をご紹介します。

社協の重点取組 2 多様な地域づくりの推進<パート2>

- ・情報の発信と共有
- ・多様な居場所づくりへの支援

「はんのうふくしの森プラン」をはじめとした各種福祉情報について、より多くの人に知ってもらうための情報発信に取り組みます。

住民同士が出会い、参加することのできる場や支え合う関係性を広げ、交流や活躍の場を生み出すコーディネートを行います。

交流の場への参加により、必要な情報の提供及び助言をするとともに、社会とのつながりづくりに向けた支援を行います。

東吾野地区では、それぞれの地区でふくしの森・東吾野の協力員の皆さんが、「ふれあいサロン」として地域の交流の場を開いています。詳細について、詳しくは↓の二次元コードからご覧ください♪



<スローガン>

幅広い世代が支え合い「ほっこり」する未来に向かって

<取組目標>

1 移動販売の継続

2 生活支援活動の見直し

3 イベントの開催

4 団体のネットワーク化

5 特産品の製造、販売

<取組内容>

- ① 実施方法の見直し
- ② 販売員の増加

- ① 生活支援協力員と方針検討
- ② 生活支援協力員へ活動の意思確認

- ① 交流を図るイベントの実施
- ② 地域交流イベント

- ① 自治会連合会東吾野支部との連携
- ② 東吾野地区民生委員児童委員協議会との連携
- ③ その他の東吾野地区内で活動する団体との連携

- ① 販売ルートの拡充

- ・圏域別ふくしの森活動計画推進への支援(下図)

地域住民や地域福祉推進組織、自治会、民生委員児童委員協議会などの団体、社会福祉法人、福祉関係事業所、企業などが参画して「圏域別ふくしの森活動計画」の推進に関する話し合いを行う場への情報提供及び技術支援を行います。

今年度、東吾野地区ではとくに、取組目標1のとおり「移動販売の継続」に向けた検討を進めました。近日中に検討した成果をご案内いたしますので楽しみに!

地域ふくし発見!

飯能市内の地域福祉に関する素敵な活動や取組みをふくしの森ステーションのCSW(コミュニティソーシャルワーカー)が取材・発信していきます。

はんのうふくしの森 活動者交流会



取材レポート：小林CSW

初めての合同交流会



市内で活動する三つの分野の皆さんが大集合！
10/11（金）に総合福祉センターで「はんのうふくしの森活動者交流会」が初開催されました。

第1部 実践報告

「第4次はんのうふくしの森プラン」の要点について事務局から説明があり、その後、菱沼先生（日本社会事業大学）によるコーディネート
の基に、①支え合い活動団体・サポート双柳、
② 地域福祉推進組織・なぐり広場、③ボラン
ティア団体・プレーパークはんのう「EGAO」
の皆さんから実践報告を行っていただきました。



サポート双柳（石井氏・通昌氏）

「介護保険サービスだけでは対応できない生活の困りごとに対応するために活動を立ち上げました」

なぐり広場（杉田氏）

「名栗の人と人をつなげる接着剤として“居場所づくり”におもきを置いて活動しており、昨年開催の“なぐりのコンサート”は約200の方が参加され、9割が名栗の方で大好評でした」



プレーパークはんのう「EGAO」（岩渕氏）

「こどもがプレーパークに来て笑顔になるのはもちろん、その笑顔を家に持って帰ったり、友達に広げたりして欲しい」

**皆さん、お話している時とって
もステキな笑顔でした！**



菱沼先生

担い手不足解消のためにも、まずは声を掛けやすい間柄づくり、色々な方と繋がる事が大事です！

チームオブドラゴンと体操!

休憩を挟み、**チームオブドラゴン**の皆さんによるアトラクション（体操）が行われました。会場が一体となり、皆さんが笑顔で体を動かし、心も体もスッキリしたひと時になりました。



第2部 交流会



本橋先生（埼玉医科大学）によるコーディネートの基に、グループワーク（自己紹介、第1部についての意見交換など）が行われ、積極的な交流で賑やかな時間となりました。

飯能市民として色々な団体が活躍している事を知ることが出来て嬉しい。挨拶出来る関係を大切に。

本橋先生



参加者からは「もっと交流したい」、「時間が足りない」など、次回開催に向けたご意見をいただきました。今後にご期待ください！